

平成25年度  
事業報告書

自 平成25年4月 1日

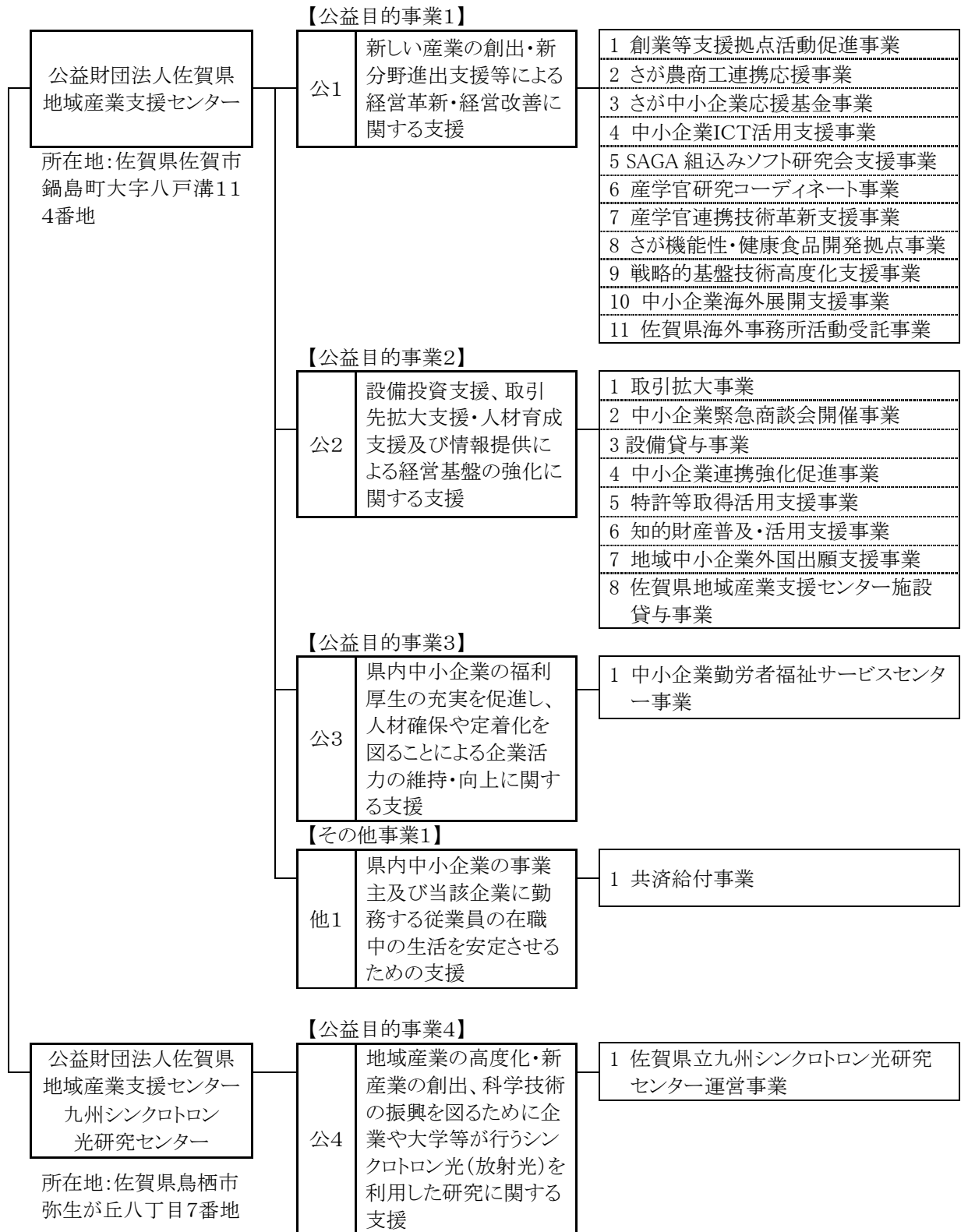
至 平成26年3月31日

公益財団法人佐賀県地域産業支援センター

# 目 次

第 1	平成 2 5 年度事業体系.....	1
第 2	平成 2 5 年度事業報告.....	2
	1  新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公 1） .....	2
	2  設備投資支援、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公 2） .....	17
	3  県内中小企業の福利厚生の充実を促進し、人材確保や定着化を図ることによる企業活力の維持・向上に関する支援（公 3） .....	23
	4  県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他 1） .....	23
	5  地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公 4） .....	24
第 3	庶務事項 .....	26

# 第1 平成25年度事業体系



## 第2 平成25年度事業報告

### 1 新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公1）

#### 【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、本事業は、佐賀県内の経済及び雇用を実質的に支えている中小企業に対し、新しい産業の創出や新分野進出に対する支援、また、経営革新や経営改善に関する支援を行うことを目的としている。

#### 【事業の構成】

本事業は、次の事業から構成される。

- 1 創業等支援拠点活動促進事業
- 2 さが農商工連携応援事業
- 3 さが中小企業応援基金事業
- 4 中小企業ICT活用支援事業
- 5 SAGA組込みソフト研究会支援事業
- 6 産学官研究コーディネート事業
- 7 産学官連携技術革新支援事業
- 8 さが機能性・健康食品開発拠点事業
- 9 戦略的基盤技術高度化支援事業
- 10 中小企業海外展開支援事業
- 11 佐賀県海外事務所活動受託事業

#### 【公1個別事業の内容】

##### （1）創業等支援拠点活動促進事業 [15,862,139円：佐賀県補助事業]

《担当部署：経営革新支援課》

県内における創業・ベンチャー・経営革新を促進するため、中小企業者の経営資源の充実・強化並びに新事業創出を促進する体制を整備した。

##### ① 支援体制整備事業

経営指導の経験を持つマネージャーを2名配置し、創業者、ベンチャー企業、経営革新を目指す企業から様々な経営課題の相談を受け、課題解決に向けたビジネスプランブラッシュアップ、コーディネート推進等の支援を行った。

##### ② 専門家派遣事業

意欲的な中小企業者の情報化対応、経営革新等の事業計画に応じて、民間の専門家を派遣し、診断・助言を行った。

・派遣件数 13件

経営改善	マーケティング	労務	技術	その他
7件	3件	2件	1件	0件

③ベンチャー交流ネットワーク事業

起業家・創業希望者相互の情報交換、産学官の各種専門家や近県ベンチャー企業との交流等を通して事業提携、事業協力の機会等を提供した。

【回数】

例会開催3回

【開催内容】

○経営革新セミナー

『起業への挑戦「変化泰平」』（第1回）

『短納期への取組が大きな利益を生む』（第2回）

『仕事と人生を楽しむために必要なこと』（第4回）

『売れる商品づくりと販路開拓の秘訣』（第4回）

○施設見学

第2回の例会開催に先立ち鳥栖市のシンクロトン光研究施設の見学を行い、例会で事業活用事例紹介を行った。

○展示会支援

⇒佐賀県環境フェスティバルへの参加（平成25年10月：8社出展）

⇒ビックマーケット2014（平成26年2月：2社参加）

**（2）さが農商工連携応援事業**

**①さが農商工連携応援基金事業[31,107,548円：基金事業]**

《担当部署：経営革新支援課》

県内中小企業と農林漁業者が有機的に連携し、農林水産物等の活用等互いの経営資源を結びつけることで新商品・新技術等の開発を行う取り組みを支援し、地域経済の活性化を図ることを目的に事業を実施した。

① 助成対象者 中小企業者と農林漁業者との連携体

② さが農商工連携応援基金造成

基金造成額25.2億円（うち県借入金20.1億円、地場金融機関5.1億円）

③ 基金果実により以下の事業を助成

・新商品開発等支援事業

新商品の開発、新役務の提供、試作品開発、展示会出展等に要する経費への助成

・助成限度額 500万円

・助成率 2/3以内

・新規採択件数 9件

事業テーマ	連携体の構成		役割・経営資源	交付決定額	
1	ナルトビエイ肉を活用した機能性練り物の開発	農林漁業者	佐賀県有明海漁業協同組合	(役割)ナルトビエイの確保・カット・冷凍保存	1,390 千円
			(佐賀市)	(経営資源)ナルトビエイ捕獲に関する人員ならびに技術	
		中小企業者	佐賀県蒲鉾協同組合	(役割)ナルトビエイ肉のミンチ加工、製造及びミンチを利用した商品開発・販売の確立	
			(佐賀市)	(経営資源)ミンチの加工技術・練り物製造技術及び販売ルート	
		中小企業者	株オフィスタカハシ	(役割)アンモニア臭をさせない捕獲方法並びにカット・冷凍保存方法の指導・アンモニア臭をさせないミンチ加工技術の確立	
			(吉野ヶ里町)	(経営資源)地域イノベーション創出研究開発事業で培った知見	
2	有機JAS認定完全無農薬有機栽培コシヒカリ、佐賀牛、肉醬を使用した「佐賀牛旨重(うまがさね)」の開発	農林漁業者	西浦 孝博	(役割)有機JAS認定完全無農薬有機栽培コシヒカリ、佐賀牛、肉醬を使用した「佐賀牛旨重(うまがさね)」の開発の助言	4,710 千円
			(佐賀市)	(経営資源)米栽培に関する知識・技術	
		中小企業者	有限会社アトム堂	(役割)有機JAS認定完全無農薬有機栽培コシヒカリ、佐賀牛、肉醬を使用した「佐賀牛旨重(うまがさね)」の開発	
			(佐賀市)	(経営資源)食品加工に関する知識・技術	
3	佐賀海苔の新しい冷凍保管技術の開発と生のりを利用した新商品の開発	農林漁業者	佐賀県有明海漁業協同組合	(役割)佐賀海苔を活用した新商品開発、佐賀海苔の新しい冷凍保管技術の開発	5,000 千円
			(佐賀市)	(経営資源)原料の生産技術	
		中小企業者	合同会社佐賀市漁村女性の会	(役割)加工、製造	
			(佐賀市)	(経営資源)加工・製造技術、生産加工工場、販売支援	
4	日本酒をベースにした「お茶リキュール」の商品開発	農林漁業者	横田茶園	(役割)お茶リキュールに適した緑茶や紅茶葉、発酵茶葉の確保の方法及び生産方法の確立	4,956 千円
			(伊万里市)	(経営資源)緑茶の栽培技術、収穫、品質管理など茶葉の加工技術	

		中小企業者	松浦一酒造株式会社 (伊万里市)	(役割) 地元産茶葉を活用した「お茶リキュール」の製造及び販売方法の確立 (経営資源) 醸造技術及び販売ルートを活用	
5	三瀬村産うるち米と菊芋の粉末を活用した機能性冷凍ギフト商品の開発	農林漁業者	マルヤスリンゴ園 (佐賀市)	(役割) 商品開発および機能性分析に係る原材料の供給と収穫体制の検証 (経営資源) 菊芋の栽培技術	2,615 千円
		中小企業者	(有)アサヒ・アグリ佐賀 (佐賀市)	(役割) 米粉加工技術を活用した商品試作開発 (経営資源) 米粉製品の指導技術及び製造機械	
6	佐賀県三瀬村産ブルーベリーを使用した新商品の開発	農林漁業者	農事組合法人井手野栗組合 (佐賀市)	(役割) 原料供給 (経営資源) ブルーベリー生産の無農薬栽培技術・加工	5,000 千円
		中小企業者	本村製菓(株) (佐賀市)	(役割) 佐賀県産の特産品を使用した新商品の製造及び販売方法の確立 (経営資源) 丸ぼうろ生産技術	
7	イタリア野菜「ピーツ」及び「セロリアック」を使ったドレッシングの製造販売に関する研究	農林漁業者	ナチュラルリズム(株) (吉野ヶ里町)	(役割) 新規ドレッシングの原材料の生産、減農薬栽培方法技術確立及び安定供給、材料品種の選定 (経営資源) 農産物生産技術及び販売ルートの活用	3,541 千円
		中小企業者	井手食品(有) (吉野ヶ里町)	(役割) ピーツドレッシング、セロリアックドレッシング研究開発及び製造販売方法の確立 (経営資源) 食品製造技術及び販売ルートを活用	
8	佐賀県産ゼスプリゴールドフルーツの規格外品を使用した新商品の開発	農林漁業者	佐賀県ゴールドキウイフルーツ生産組合 (佐賀市)	(役割) 新商品原料果実の栽培選果出荷 (経営資源) 新商品原料果実の栽培選果出荷	4,999 千円
		中小企業者	(株)アグリ (佐賀市)	(役割及び経営資源) 新商品の選別、原料品質維持管理、商品企画の策定、商品販売に関するマーケティング、マネジメント商品販売に関する一連業務、商品の販売元	

9	伊万里産 ねぎと佐 賀産大豆 を素材と した「ねぎ 大豆菓 子」の研 究開発	農林漁業者	(有)伊万里グ リーンファーム (伊万里市)	(役割)小ねぎの乾燥、パウダー 加工及び販売方法の提供 (経営資源)小ねぎの栽培、生 産及び販売ルート	5,000 千円
		中小企業者	(株)宮本邦 製菓 (武雄市)	(役割)ねぎ大豆食品の商品開 発、及び生産方法の確立 (経営資源)豆菓子の生産技 術、品質管理及び販売ルート	

## ②農商工連携開拓支援事業 [7,081,088 円／佐賀県受託金]

《担当部署：経営革新支援課》

平成21年度に当公益財団に「さが農商工連携応援基金」を設置し、基金の運用益を活用し、商品開発等に取り組む中小企業者と農林漁業者との連携体に対する助成事業を実施している。

そこで、さが農商工連携応援基金事業の新商品開発の案件発掘強化を図るため、特に農林漁業者側のニーズ発掘や商工業者とのマッチング、ビジネスプランの作成支援等を行う農商工連携アドバイザー等を設置し、県内の農商工連携を促進を図った。

これまで当該公益財団で培ってきたノウハウを生かし、体制を拡充し広報活動や相談を行うことで、農林漁業者や農業団体との関係を構築し新商品開発の案件発掘につながった。

## (3) さが中小企業応援基金事業 [18,084,790 円：基金事業]

《担当部署：経営革新支援課》

県内中小企業者を対象に新産業分野（ナノテク、新エネ、ポストゲノム、コンテンツビジネス、光触媒）、自動車産業分野、県内地域資源（有田焼、諸富家具などの佐賀県が特定する地域資源）を活用した分野において、新製品開発や販路開拓の取り組みに対して支援し、地域経済の活性化を図ることを目的に事業を実施した。

### ① 新製品開発助成事業

・新規採択件数		5 件
助成分野	自動車産業	1 件
	新エネルギー	1 件
	地域資源	3 件

### ② 販路開拓助成事業

・新規採択件数		1 1 件
	新産業（新エネルギー）	3 件
	自動車産業	2 件
	地域資源	6 件



事業名	助成事業者名	分野	事業計画のテーマ	交付決定額
新製品 開発事業	ケイエスケイツール(株)	自動車産業	内歯車の高精度加工を実現するスカイビング工具の開発	5,000 千円
	有田製窯(株)	地域資源(有田焼)	20代女性をターゲットにした有田焼「コスメ商品」の開発	4,954 千円
	真右エ門(株)	地域資源(有田焼)	釉薬開発及び釉薬に適した生地製造	1,870 千円
	佐藤商会	地域資源(大豆)	逆転ロータリーを使用した速度連動装置付電動施肥播種機	4,400 千円
	(株)炭化	新エネルギー	バイオマス利用の竹炭複合物とHカテキンによる臭気除去・抗菌技術開発	5,000 千円
販路 開拓事業	(株)AQUAPASS	自動車産業	「連続式超音波洗浄・サイジェット洗浄」(H25.11.13～16「メッセナゴヤ2013」)	900 千円
	(有)佐賀ダンボール商会	地域資源(有田焼)	「アートとしての伝統工芸(有田焼ボールペン)」(H25.9.4～6、「ギフトショー東京」(東京ビッグサイト))	610 千円
	岩尾磁器工業(株)	新エネルギー	「分離膜用多孔質セラミック支持体、受注生産システム」(H25.10.30～11.1、「INCHEM TOKYO2013」(東京ビッグサイト))	890 千円
	大神(株)	地域資源(アスパラガス)	「バッテリー式電動アスパラガス収穫台車」(H25.10.9～11、「国際農業資材EXPO」(幕張メッセ))	440 千円
	有田製窯(株)	地域資源(有田焼)	「明治伊万里 新シリーズ」(H25.9.17～25、「大遠百貨店 日本展示会」(台湾百貨店))	1,000 千円
	ビーウィズ(株)	自動車産業	「STATE-D:業界初のオールインワンのフルデジタルプレーヤー」(H25.11.22～12.1、「東京モーターショー2013」(東京ビッグサイト))	1,000 千円
	肥前吉田焼窯元(協)	地域資源(有田焼)	「嬉野スタイルIH対応ケトル等」(H26.2.5～7、「東京ギフトショー」(東京ビッグサイト))	1,000 千円
	聖徳ゼロテック(株)	地域資源(大豆)	「ハイブリッド金型」(H26.6.25～27、「機械要素技術展」(東京ビッグサイト))	558 千円
	(合)光武酒造場	地域資源(日本酒)	「魔界への誘い、シャルウイダンス(純米酒、スパークリング)他」(H26.2.12～14、「スーパーマーケットトレードショー」(東京ビッグサイト))	150 千円

株唐房米穀	地域資源 (米)	「一粒庵の冷凍ごはん(個食タイプ)」 (H26.2.12～14、「スーパーマーケットトレード ショー」(東京ビッグサイト))	440 千円
熊本電気工 業(株)	新エネルギ ー	「LEDソーラー街路照明灯」(H26.1.15 ～17、「LIGHTING JAPAN 2014」)	1,000 千円

#### (4) 中小企業 ICT活用支援事業 [5,322,637 円：佐賀県補助事業]

《担当部署：経営革新支援課》

高度な専門的人材が不足する県内中小企業者について、ICT導入に積極的な意識が高い企業を中心に、ICTを経営に取り入れ、業務の効率化を進め、更には、ICT技術の活用により得られる情報等を共有し経営判断の材料として活用することで、経営力向上、経営革新、新技術・新分野への展開を推進した。

##### ① ITコーディネーターの活用

中小企業の生産管理の向上、経営革新の推進、新事業展開等について、ICTを高度することで対応できるよう、外部専門家であるITコーディネータ(1名)による巡回・窓口対応による相談等を実施した。

また、中小企業ICT活用支援事業における支援メニュー(各種研修会や専門家派遣)及び国、県、関係団体等が実施する同様の効果が見込まれる各種支援策をコーディネートすることで、より効果的なICT導入等の指導・助言を行った。

##### ② ITシステム担当者能力向上研修会の開催

IT担当者は存在するが、その高度利活用に悩んでいる企業に対して、社内技術者の能力向上を目指したセミナーと講習会を開催した。セミナーでは、ICT導入による企業への利点・効果・導入事例(県内企業)等を紹介し、研修会では、システム導入が簡単にできることを体験させるため、MZPFの初級コース、中級コースに準ずる内容の研修を行った。

##### ③ ICTリーダー育成研修会の開催

高度ITの利活用について、経営と現場の両面から社内をリードできる人材を育成するため、ICT高度利活用の事例紹介としてIT経営力大賞での表彰企業を紹介した。また、ICT高度利活用に携わる、企業内の人材育成講座を年4回開催した。

##### ④ 専門家派遣

ITコーディネータによる相談、助言や企業訪問及び中小企業ICT活用支援事業における事業(セミナー、研修会)を通じ、ICT導入・ICT高度化利活用への理解を示した企業に対し、ITコーディネータが、当該企業の抱える様々な課題解決に向け、企業の発展段階に適合した専門家を派遣。専門家による指導・助言と、それら取組の成果目標を経営革新支援計画に反映するための支援を行った。

**(5) S A G A 組込みソフト研究会支援事業 [251,926 円：自主事業]**

《担当部署：経営革新支援課》

組込みシステムに係るネットワーク形成、人材育成、競争力、技術力の強化、プロジェクトマネジメント及び共同の販路開拓等を目的に、県内の企業・技術者が、組込みソフトウェア技術の利活用により高度 I C T 化を図ることで、経営革新、新事業展開、新技術・新分野進出を支援した。

①組込みソフト関連セミナー・分科会の開催

情報産業に位置する企業・技術者を中心に、組込みソフト関連セミナー・分科会を開催し、県内に高度 I C T 利活用の啓発に努め、組込みソフト技術を活用した新事業展開の推進、プロジェクトの立上げを支援した。

②E T ロボコンへの参加

若手技術者育成を目的に、技術力向上へのチャレンジとしてメンバーによる E T ロボコン大会への参加を支援した。若手技術者で開発に必要な基礎技術から UML 手法を使ったモデリング力向上を図った。

**(6) 産学官研究コーディネート事業 [5,526,389 円：佐賀県補助事業]**

《担当部署：研究開発推進課》

科学技術コーディネーターを中心とした研究コーディネート事業を展開し、研究資源情報の蓄積、研究者の人的交流ネットワークの構築、地域経済の特性を活かした研究開発の推進及び支援を行った。

・研究開発プロジェクトの企画支援 15 件（うち採択数 12 件）

**(7) 産学官連携技術革新支援事業 [4,642,322 円：佐賀県補助事業]**

《担当部署：研究開発推進課》

新製品・新技術を志向する県内中小企業等に対し、販路開拓まで見据えた支援を行い、県内企業の技術革新創出を支援した。

①基礎研究への支援

基礎研究開発・可能性試験を行うための委託事業 3 件

- 1) 【課題名】 「袋状セラミックス成形体成形技術の開発」(基礎的研究)
- 【受託者】 有限会社 瀏野陶土
- 【委託額】 1,500,000 円
- 【委託期間】 平成25年6月11日から平成 26 年 2 月 28 日まで
- 【試験概要】 現在の鋳込み方法での課題を克服して歩留まりの向上と成形時間の大幅短縮を目指すこと、及び最適な成形条件の選定を検討しながら新たな成形方法を確立させた。
- 【成 果】 今回新しい鋳込装置を開発し、理想的な肉厚を持つ成形体を

得られ、安定的に成形が容易になった。

- 2) 【課題名】 「プチヴェールの化粧品原料としての可能性試験」(基礎的研究)  
【受託者】 株式会社野の花農園  
【委託額】 1,500,000 円  
【委託期間】 平成 25 年 8 月 20 日から平成 26 年 2 月 28 日まで  
【試験概要】 日本国特許庁の公開特許公報に記載がない、プチヴェールの化粧品原料としての利用効果について試験を実施した。エキスの効率的抽出方法の検討、栄養価の中で美容効果のあるものに着目し、化粧品原料として最大効果を発揮するための分析や化学試験を実施した。  
【成 果】 「プチヴェールの化粧品原料としての可能性試験」では、プチヴェール抽出エキスに化粧品原料としての特段な成果は得られなかった。  
但し、50%BG と 50%ET のプチベール抽出エキスに抗酸化作用が認められ、加えて、50%ET のプチベール抽出エキスにチロシナーゼ酵素の働きを活性化する可能性が見られる結果を得た。
- 3) 【課題名】 「栄養機能性成分を添加した新規フローレットの実用化に向けた研究開発」(実用化研究)  
【受託者】 竹下製菓株式会社  
【委託額】 1,000,000 円  
【委託期間】 平成 25 年 11 月 5 日から平成 26 年 2 月 28 日まで  
【試験概要】 当社で生産している「フローレット」の機能性成分に着目し、栄養機能性成分を手軽に補給できる食品(機能性おやつ)として付加価値を高め、広く販路を開拓することを目的でラボでの分析を行った。  
【成 果】 製造については、ミネラル類、ビタミン類、カルチニン、βグルカンの各成分による大きな影響は無く、僅かな改善で実用化が可能なことが判った。

②展示会出展等販路開拓への助成 2 件

1) 展示会出展採択

- 【申請者】 日本建設技術株式会社  
【出展展示会】 第 15 回ジャパンインターナショナルシーフードショー  
【開催場所】 東京国際展示場“東京ビッグサイト”東 5・6 ホール  
【出展期間】 平成 25 年 8 月 21 日(水)～平成 25 年 8 月 23 日(金)  
【交付決定日】 平成 25 年 6 月 10 日  
【補助金額】 189,000 円

【展示概要】 ガラス基材を原料とした多孔質材料を開発し、平成19年に水産養殖用のろ過材(商品名:クリスタルバイオ)として商品化したもの。養殖関係に止まらず、水産に関係するあらゆる企業・団体が参加する展示会で商品 PR を目的とする。

【成 果】 展示会(ブース)来場者 約250名、うち名刺交換80件であった。その内、ブース訪問者から展示会終了後に3件のろ過材(水産養殖用クリスタルバイオ)の見積依頼があった。

また、アサリ漁場や養殖場の底泥の改善を図っている企業から問い合わせがあり、観賞魚水槽のろ過材としてクリスタルバイオを使用し、同時に環境改善素材によってクリスタルバイオに住み着いた微生物を活性化させる事により、浄化効果が向上するか実験をしてみたいという申し出があった。

## 2) 展示会出展採択

【申請者】 株式会社中島製作所

【出展展示会】 第42回国際ホテル・レストラン・ショー

【開催場所】 東京国際展示場“東京ビッグサイト”東展示棟

【出展期間】 平成26年2月18日(火)～平成26年2月21日(金)

【交付決定日】 平成25年10月31日

【補助金額】 500,000円

【展示概要】 病院・介護施設向け配色サービスの一つである、ニュークックチルシステムにおいて、業界初である「マイクロ波」を用いて再加熱を行う装置を開発した

【成 果】 展示会(ブース)来場者 約600名、うち名刺交換の約400件の半数くらいから価格の問合せがあった。

同時に、厨房機器メーカーから OEM 製作相談があり、平成26年5月交渉予定となっている。

## (8) 戦略的基盤技術高度化支援事業 [42,711,235円：国受託事業]

《担当部署：研究開発推進課》

国の競争的資金である当該事業への申請から支援を行って新製品・新技術を志向する県内中小企業等に対し、共同研究体制の構築から採択後の事業化まで見据えた支援を行い、県内企業の技術革新創出を支援した。

なお、今年度九州では33件の応募があり、10件が採択された。

うち、当財団関連では、2件が採択された。

- ①研究テーマ 「熱可塑性フッ素樹脂に熱伝導性フィラーを高密度・高充填したパワーエレクトロニクス機器用高耐熱性放熱シートの開発」  
車載機器等のパワーエレクトロニクス化進展に伴い増大する発

生熱に対処するため、高熱伝導性に加え高耐熱性を有する放熱シートを開発することが重要となっている。

今年度は、その構成母材であるポリマーを従来のシリコン系からフッ素樹脂へと置き換える素材の選択及び高密度・高充填技術の開発により高耐熱性を獲得する研究を実施した。今後は、シートの拡大サイズ製作技術へ軸足を移すこととなる。

○事業期間 平成25年度～平成27年度（3年間）

○総事業費 49,830,000円（国委託金）

○平成25年度事業費 21,652,880円

○実施体制

・事業管理者（公財）佐賀県地域産業支援センター

・研究実施者 ㈱PAT、㈱AQUAPASS、(国)九州大学、  
佐賀県窯業技術センター

## ②研究テーマ 「鶏舎内の無臭化及びハエ発生防止効果を持たせた新規乳酸菌による発酵飼料添加物の開発」

養鶏において鶏舎の悪臭、ハエ発生は深刻な環境問題であり、様々な改善・対処が行われているが決定的な解決方法は見出されていない。

今年度は、これまでに見出した新規乳酸菌株とその増殖促進技術を基盤として、乳酸菌の大量培養技術・工程を確立して培養発酵装置を試作し、発酵飼料添加物を製造する研究を推進した。

また、これを給餌することによる鶏の成長や鶏舎内の環境変化等を実験農家で現地調査を行い情報収集した。

なお、鶏に対する飼料添加物の安全性評価（有害重金属の分析）は次年度実施する。

○事業期間 平成25年度～平成26年度（2年間）

○総事業費 36,097,000円（国委託金）

○平成25年度事業費 20,999,519円

○実施体制

・事業管理者（公財）佐賀県地域産業支援センター

・研究実施者 ㈱クリエイト、㈱本村製作所、(国)佐賀大学、  
佐賀県畜産試験場

## (9) さが機能性・健康食品開発拠点事業 [13,130,914円：佐賀県補助事業]

《担当部署：研究開発推進課》

佐賀県内において、付加価値の高い新産業（機能性食品分野）の創出・集積を図るため、県内中小企業等が産学官の共同研究等により行う新製

品・新技術開発を支援した。

①コーディネート事業

ライフサイエンス分野に幅広い知見を持ち、産学官連携と技術移転の構築支援の経験がある2名のコーディネーターを配置し、佐賀大学内に設置する「徐福フロンティアラボ」において、企業ニーズの掘り起し、研究者シーズとのマッチング、共同研究支援から新商品企画までを行うコーディネート活動事業を展開した。

- ・研究開発プロジェクトの企画支援6件（うち採用4件）
- ・事業普及シンポジウムの開催（4ヶ所）  
（佐賀市で延べ185名が参加）

○共同研究例 6件（H25年度新規契約のみ）

共同研究先	研究テーマ	資金
株北島商店	佐賀県産規格外野菜の有効活用に関する研究	農商工連携事業
松浦一酒造(株)	日本酒をベースにした高濃度緑茶リキュールの商品開発	農商工連携事業
株森光商店 (受託研究:佐賀大学:穴井教授、永尾准教授)	新規高オレイン酸大豆の機能性強化と加工適正	A-STEP顕在化タイプ(JST)
株クリエイト	鶏舎内の無臭化及びハエ発生防止効果を持たせた新規乳酸菌による発酵飼料添加物の開発	サポイン事業
株野の花農園	プチヴェールの化粧品原料としての可能性評価	可能性試験
竹下製菓(株)	栄養機能性成分を添加したフローレットの商品化	可能性試験

②トライアルユース事業

県内中小企業が「徐福フロンティアラボ」における共同研究に組みやすくなるよう、機能性・健康食品の共同研究を志向する県内中小企業等に対して、初期段階の研究に係る経費の一部を助成する事業。

- ・トライアルユース補助事業への助成 3件

1) 【研究テーマ】「佐賀県内有機 JAS 栽培による「リグナンリッチ国産ごま（ごまぞう、まるえもん、まるひめ、その他）」種子中の「セサミン」含量評価分析」

【企業名】 株式会社まんてん  
【補助金額】 229,000 円  
【補助期間】 平成 25 年 9 月 20 日から平成 26 年 2 月 28 日まで  
【研究概要】 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）所有のリグナンリッチ国産ごま（ごまぞう、まるえもん、まるひめ）種子を使用し栽培し、収穫後、それぞれのごま種子中の「セサミン」及び「セサモリン」の含量を、佐賀産地ごま、輸入ごま（パラグアイ、ミャンマー、トルコ）と比較評価する。

【成 果】 液体クロマトグラフ質量分析計による佐賀産地ごま、輸入ごま（パラグアイ、ミャンマー、トルコ）と比較評価を行った結果、セサミン含有量が「まるえもん」が佐賀産地ごまの約 4 倍、セサモリン含有量では「まるひめ」が佐賀産地ごまの約 2 倍であった。「ごまぞう」も同様に高い含有量を示した。

2) 【研究テーマ】「超高オレイン酸大豆品種の開発」

【企業名】 株式会社森光商店  
【補助金額】 499,000 円  
【補助期間】 平成 25 年 9 月 20 日から平成 26 年 2 月 28 日まで  
【研究概要】 佐賀大学農学部圃場で試験栽培された超高オレイン酸大豆を脂肪酸組成（パルミチン酸、ステアリン酸、リノール酸、リノレン酸）の組成分析を行う。

併せて品種改良、試験栽培を行う。従来 of 主要品種（フクユタカ・むらゆたか）並みの栽培特性・品質を持ち合わせた系統の選抜を行う。

【成 果】 ガスクロマトグラフ質量分析計により脂肪酸組成の解析を行った結果、フクユタカは 20% 以下であったのに対して、高オレイン酸系統のすべての個体では 77% 超のオレイン酸の蓄積が確認された。

オレイン酸含量による優良系統の選抜については、農業特性の評価で草丈と粒大が良好であると判断された選抜系統 10 個体について、ガスクロマトグラフ質量分析計を用いた脂肪酸組成の分析を行い、オレイン酸含量の高い優良系統の選抜を試みた。その結果、分析したすべての個体は 76% 以上のオレイン酸含量を示し、これらの選抜系統のオレイン酸の形質は十分に安定しており、既に遺伝子的に固定されていることが示唆された



3) 【研究テーマ】「みつせ鶏、ふもと赤鶏を含めた主要鶏肉銘柄の銘柄別呈味成分分布表作成（味覚マップ）と味覚形成要因の分析」

【企業名】 株式会社ヨコオ

【補助金額】 669,000 円

【補助期間】 平成 25 年 9 月 20 日から平成 26 年 2 月 28 日まで

【研究概要】 サンプル（自社ブロイラームネ肉、他社ブロイラームネ肉、みつせ鶏ムネ肉、ふもと赤鶏ムネ肉）の収集及び各サンプルの遺伝、栄養、飼育管理などの情報の整理及びサンプルの成分（エネルギー、水分、タンパク質、脂質、炭水化物、灰分）分析と西九州大学での官能試験を実施した。

【成 果】 1. 成果サンプル重量と各成分、破断荷重の関係  
整形ムネ肉重量と加熱ムネ肉重量は正の相関を示した。つまり、サンプルの重量（ムネ肉重量と生体重は正の相関）が増加すればするほど加熱調理サンプルの水分割合も増しているが、タンパク質は反対に負の相関を示し減少する。

また、ブロイラーは正の、赤鶏は負の相関がみられ、赤鶏は重量が大きくなるにつれ軟らかく、ブロイラーは硬さが増す傾向がみられた。

2. 味成分の2次元マップ

赤鶏を中心に、味覚認識装置及びパネリストによる官能検査共に、自社ブロイラーで、赤鶏及び他社ブロイラーに比較し旨味・コクが、さらに、甘味、官能検査ではジューシーさも他の銘柄に比較して強く示された。

## （10）中小企業海外展開支援事業 [16,843,940 円：佐賀県補助事業]

《担当部署：総務管理課》

中国国内に海外事務所を整備し、佐賀県と連携して県内中小企業の海外展開等を支援した。

### ○事務所の設置

- ・瀋陽事務所（遼寧省瀋陽市和平区）
- ・香港事務所（香港セントラル地区）

### ○中国国内における情報収集、情報提供

中国国内のタイムリーな情報を収集し、随時関係企業等へ情報を提供した。

○県内中小企業等に対する相談支援

県内中小企業等からの相談対応について、現地の事情などを踏まえた助言を行った。

**(11) 佐賀県海外事務所活動受託事業 [16,706,368円：佐賀県受託事業]**

《担当部署：総務管理課》

佐賀県との連携により中国に設置している瀋陽事務所及び香港事務所の海外事務所において、地域産業の発展に資する様々な国際関連の取組を、佐賀県から受託し最前線（現地）で実施した。

①企業取引支援

見本市等への出展、県内企業による現地活動支援などを行った。

②県産品の輸出促進・販路開拓

有田焼等の焼物、工業製品、加工食品などの県産品について、現地百貨店バイヤーや輸入業者等、さらには消費者に対するPR活動を行った。

③外国人観光客の誘致

現地旅行会社への営業活動、旅行会社やメディアとタイアップした観光客の誘致活動などを行った。

④現地関係機関等からの情報収集及び収集した情報の提供

現地の政府機関や民間機関、さらには日本人や日系企業などによる任意団体などから、県内企業等からのニーズをふまえて様々な現地情報を収集し、収集した情報は、県内企業等へ随時提供した。

## 2 設備投資支援、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公2）

### 【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図ため、本事業は、佐賀県内の経済及び雇用を実質的に支えている中小企業に対し、設備投資支援や取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援を行うことを目的としている。

### 【事業の構成】

本事業は、次の事業から構成される。

- 1 取引拡大事業
- 2 中小企業緊急商談会開催事業
- 3 設備貸与事業
- 4 中小企業連携強化促進事業
- 5 特許等取得活用支援事業
- 6 知的財産普及・活用支援事業
- 7 地域中小企業外国出願支援事業
- 8 佐賀県地域産業支援センター施設貸与事業

### 【公2個別事業の内容】

#### （1）取引拡大事業 [1,875,252円：佐賀県補助事業]

《担当部署：ものづくり支援課》

県内機械金属製造業・自動車関連企業及びサービス業を中心とした下請中小企業に対する受発注取引のあっせんを行った。また、受注機会の拡大、新規取引先の拡大のため、見本市等への製品・加工技術の展示の支援や九州地区各支援機関等と共同して商談会を開催し、取引の拡大を支援した。

（ア）取引あっせん状況

登録企業数		申出件数		あっせん 件数	取引成立 件数	当初成立金額 (千円)
発注	受注	発注	受注			
263	701	184	294	451	25	20,697

（イ） a 平成26年版登録企業名簿の発行（800部）

b 平成26年版受注企業名簿：写真掲載版（400部）

（ウ）受注余力調査 年4回（四半期毎）

（エ）発注開拓調査 年2回（九州合同）

（オ）外注状況調査（県内） 1回

(カ) 商談会・展示会の開催

- a 商談会開催 7回 (受注側県内参加企業 延べ50社)
- ・「製造技術マッチングフェア」 (平成25年6月、北九州市)
  - ・「久留米広域商談会」 (平成25年10月、久留米市)
  - ・「九州自動車部品相互展示商談会」 (平成25年10月、福岡市)
  - ・「九州自動車新技術・新工法展示商談会inダイハツ九州」 (平成25年10月、中津市)
  - ・「ダイハツ工業(株)九州自動車新技術・新工法展示会」 (平成25年10月、大阪府)
  - ・「九州7県合同広域商談会」 (平成25年11月、大阪府)
  - ・「新技術・新工法展示商談会 in HONDA」 (平成26年2月、栃木県)
- b 展示会出展 2回 (出展企業 5社)
- ・「中小企業テクノフェア in 九州2013」 (平成25年10月、北九州市)
  - ・「モノづくりフェア2013」 (平成25年11月、福岡市)

(キ) 下請かけこみ寺事業

下請取引に関する様々な問題を抱える県内中小企業者等の相談に応じ、アドバイス等の支援を行うとともに、「下請振興法」、「下請代金等遅延防止法」等の周知や、「下請かけこみ寺事業」のPRを行った。

- ・相談件数 9件 (延べ12回のうち無料弁護士相談3回)

**(2) 中小企業緊急商談会開催事業 [27,930円：地域産業活性化基金事業]**

《担当部署：ものづくり支援課》

国内外の大きな経済変動により、大幅な受注減に見舞われている県内中小企業の受注量の確保のために、機械金属関連企業等の業種を対象に県内外の大手・中堅企業の発注担当者を招き、緊急の商談会を開催した。

- ・開催回数 1回 (2月)
- ・参加企業 発注企業 18社、 県内受注企業 31社

**(3) 設備貸与事業 [63,490,101円：佐賀県貸付金事業、自主事業]**

《担当部署：ものづくり支援課》

創業及び経営基盤の強化に必要な設備について、当公益財団が設備を購入し、県内小規模企業者等に対して、貸与(割賦・リース)を行った。

○業種別貸与状況（5企業 47,060,000円）

業 種	割賦		リース	
	企業数	金額(千円)	企業数	金額(千円)
建設業（職別工事業）	2	30,510	—	—
製造業（食料品製造業）	1	6,480	—	—
製造業（金属製品製造業）	—	—	2	10,070
合 計	3	36,990	2	10,070

**（４）中小企業連携強化促進事業 [13,445,973円／佐賀県補助金]**

《担当部署：中小企業連携推進グループ》

コーディネーター2名の支援により企業連携体（研究会）を組織し、発注企業が他地域から調達しているユニット品の共同受注を目指す活動や、新たな加工技術・新技術を開発し新たな受注拡大や新分野への参入を目指す活動、また、マーケティングの強化により既存取引の拡大を図る活動を行った。

①現状把握、課題の収集・整理

カーメーカー及び Tier,1 側が求めるニーズと困り事の吸上げを行い、課題の収集、整理を行った。

- 市場ニーズを掴めていない⇒マーケティング力の脆弱性
- ものづくりの企画力不足⇒イノベーション力の脆弱性
- 営業先が見えない、販売糸口が見出せない⇒PR力、営業力（出口確保）の脆弱性

②課題克服に向けた活動

中小企業が連携し、課題を克服しながら、市場拡大・受注拡大へ繋げる仕組み作りを進め、以下のテーマに沿った活動に取り組んだ。

- マーケティング力の向上活動
  - ・県内企業の実力把握とコア技術の明確化
  - ・課題や困り事の吸上げ
  - ・市場が求める生の声やニーズの吸上げ
- イノベーション力の向上活動
  - ・各種研究会を立上げ企業連携の下での製品開発への関り方や企画開発の進め方を育成中
  - ・県内企業の手持てる技術力や埋もれた技術を活かした研究会を立上げ、企画開発の進め方を育成中
  - ・他分野技術の技術転用や技術の組合せによる付加価値の向上など創造型の技術開発の進め方を育成中
  - ・新たな分野を模索し企画できる力を育成中

- PR力、営業力（出口確保）の向上活動
  - ・行政・団体・企業などへ県の事業や県内企業の紹介、各種研究会の活動紹介を通じた販路拡大の推進
  - ・メーカー、Tier,1 への売込みやマッチングを推進
  - ・ゼネラルプロダクションを中心とした企業連携の仕組みとビジネスモデル構築を推進

### ③活動成果の概要

- 品質・コスト競争力の向上
  - ・中京地区の価格より抑えた価格競争力で、中京地区発注メーカーから直接の受注に結び付く 等
- 地域で連携した地場調達機能・能力の向上
  - ・ものづくりから出口までを活性化させる佐賀県独自のビジネスモデルを立案し、骨格を成して来た 等
- 技術開発力の向上
  - ・各種研究会（異材接合研究会、金型・ゲージ研究会、ケナフボードリサイクル研究会、ハイテン材加工技術研究会、次世代技術研究会）を組織、機能させる事で各々の企業力を発揮できる場を提供 等

#### 【研究会活動実績】

##### ①異材接合研究会

軽量化と部品点数削減のため金属×樹脂を接着ではなく接合する技術の開発を目指す。

##### ②金型・ゲージ研究会

自動車産業向け大型鋳物（アルミ、鋳鉄）金型の現調化及び大型治具・検具の製造が可能か否かの検証を行う。

##### ③ケナフボードリサイクル研究会

県内企業で排出されるケナフボード端材のリサイクルを検証し利用促進を図る。

- ・マテリアルリサイクルの検討
- ・分解処理の検討

##### ④ハイテン材加工技術研究会

自動車メーカーではの低燃費化に対応した技術として、ボディの軽量化が欠かせず、特にプレス鋼板のハイテン材化が重要課題となっている。

- ・ハイテン材プレス技術の育成を図る
- ・ハイテン材金型製作技術の育成を図る

##### ⑤次世代技術研究会

産業創造型の地域育成を目的に次世代自動車、次世代産業などの技術研鑽を行い、新たなものづくりに繋がる研究テーマの創出を進める。

- 地域・企業力の向上及び人材育成
  - ・佐賀県や自動車産業振興会との共同で、県内外の自動車メーカーや発注企業、受注企業を訪問し、工場見学や交流会の実施 等

④企業連携による新規事業展開件数

- 3件（平成25年度達成）
- 2件（平成26年度継続）

**（5）特許等取得活用支援事業 [28,908,347円：国受託事業]**

《担当部署：知財支援課》

中小企業等の知的財産に関する課題等の相談を受け付ける「知財総合支援窓口」を設置し、商工団体等との連携のもと、窓口支援担当が知財専門家（弁理士等）と共同するなどして、特許等の取得や活用に関する支援を行った。

- ・窓口支援担当者 3名、事務担当者 1名
- ・支援件数 延べ 1,747件

**（6）知的財産普及・活用支援事業 [2,992,740円：佐賀県受託事業]**

《担当部署：知財支援課》

自治体特許流通コーディネーターを配置し、県内中小企業への知的財産に関する普及啓発を行うとともに、技術移転等の支援により新技術・新商品開発の推進を図った。

- ・自治体特許流通コーディネーター 1名
- ・支援件数 延べ 187件

**（7）地域中小企業外国出願支援事業 [4,663,883円：国補助事業]**

《担当部署：知財支援課》

外国への事業展開等を計画している県内中小企業者の特許等外国出願に対して支援を行った。

- ・支援件数 4件（特許2件、商標2件）
- ・助成率 1/2以内

中小企業者名	出願内容	出願国数	事業費（円）	
			決算額	助成金額
不二コンクリート工業(株)	特許出願	2ヶ国	858,871	418,000
(株)中山鉄工所	特許出願	1ヶ国	464,652	225,000
(有)あんじん	商標出願	4ヶ国	821,322	396,000
(株)まるきん	商標出願	4ヶ国	801,344	383,000
計 4件			2,946,189	1,422,000

**(8) 佐賀県地域産業支援センター施設貸与事業 [2,862,950円：佐賀県受託事業]**

《担当部署：総務管理課》

佐賀県地域産業支援センターの指定管理者として、設置目的である技術の高度化、経営の効率化等企業の事業活動に対する支援に資するため、経費節減や利用者の満足度向上等に配慮しながら、管理運営を実施した。

ア 研修室貸出

・第1研修室利用承認件数	125件
・第2研修室利用承認件数	21件
計	146件

イ 研究開発室貸出

・入居審査会開催件数	4件
・入居貸出件数（年度末時点）	5件

ウ ビデオ・図書貸出

・ビデオ貸出	延べ 46巻
・図書貸出	延べ 53冊



### 3 県内中小企業の福利厚生の充実を促進し、人材確保や定着化を図ることによる企業活力の維持・向上に関する支援（公3）

#### 【事業の趣旨】

本事業は、中小企業単独では実施が困難な福利厚生事業について、そのスケールメリットを生かして、健康増進、自己啓発、余暇活動等総合的な福祉サービスを提供することにより、県内中小企業の福利厚生の実現を促進し、人材確保や定着化に資することを目的としており、県内全ての中小企業事業主及び当該中小企業の従業員を対象としている。

なお、事業の実施に当たっては、効率的な事業運営のために、「会員」制度を採用し、一定額の運営負担金と会費の納入をお願いしている。

#### 【公3個別事業の内容】

##### （1）中小企業勤労者福祉サービスセンター事業 [33,208,314円：受取会費、佐賀県・県内市町・事業所負担金]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

###### ①健康増進事業

会員の健康を増進するため、人間ドック・脳ドック・一般健診にかかる費用等に対して助成を行った。

###### ②自己啓発事業

会員の自己啓発を支援するため、自己啓発にかかる費用に対して助成を行った。

###### ③余暇活動事業

会員等の余暇活動を支援するため、余暇活動にかかる費用に対して助成を行った。

### 4 県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他1）

#### 【他1個別事業の内容】

##### （1）共済給付事業 [6,590,956円：受取会費]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

会員である県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活安定を図るため、（一財）全国勤労者福祉・共済振興協会（以下「協会」という。）の共済制度を活用して、会員への各種慶弔給付を行った。

## 5 地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公4）

《担当部署：九州シンクロトロン光研究センター》

### 【事業の趣旨】

本事業は、佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター（以下「研究センター」という。）の指定管理者として施設を運営し、企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究支援を行うことにより、地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与することを目的とする。

### 【公4個別事業の内容】

#### （1）佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター運営事業 [426, 220, 122 円／佐賀県受託事業]

##### 1) 施設貸与

当研究センターを通じて「地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する」（設置目的）ため、県有ビームラインや研究室等の貸与を通じて、企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究への支援を行った。

具体的には、測定装置の充実等によって利用環境を拡充するとともに、企業や試験研究機関向けの利用支援セミナーを開催するなど、研究センターのPRや利用開拓につながる各種施策を展開して利用促進を図った。合わせて、他機関ビームラインについても各種の支援を行い、利用促進を図った。

このことにより、県有ビームラインの利用実績は、154件 3,003時間となった。

##### 2) シンクロトロン光の研究・普及

当研究センターの設置目的である「地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する」ため、シンクロトロン光（放射光）に関する研究開発を行い、そこから得られた新たな知見等その成果の普及を行った。

具体的には、光源加速器やビームラインの装置等の性能向上や測定技術開発等のための自主研究、産学官の各機関との共同研究、科学研究費補助金等の競争的外部資金を用いた研究等を進め、その研究成果を、研究成果報告会、ホームページ、論文及び学会等での発表を通じて積極的に発信するとともに、研究スタッフの研修や技術交流の面でも、関係施設との連携を図った。

また、研究センターのスタッフによる研究成果等の知的財産化については、2件が特許登録された。

**(2) 先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業[16,789,937円：文部科学省補助事業]**

本事業は、大学、独立行政法人等の研究機関等が有する先端研究施設の共用を促進するとともに、これらのネットワーク化や先端性向上等を行うことで多様なユーザーニーズに対応するプラットフォームを形成し、利用の裾野拡大等を目指す文部科学省の事業である。

当研究センターの先端研究基盤共用事業においては、先端産業の実用化技術や基盤技術の高度化を支援するために、1日単位の短期利用から最長1年の期間にまたがる長期利用課題の受け入れとフォローを行い、当研究センターが有する複数の県有ビームラインを選択的に用いて、シンクロトロン放射光利用技術の指導、支援等（17件630時間）を行った。

また、新たにプラットフォーム形成事業において、シンクロトロン放射光施設6機関とレーザー施設2機関から構成される「光ビームプラットフォーム」に参画し、全国的な視野で利用情報の発信、共通技術の開発、人材交流等を行い、利用者の利便性向上や裾野の拡大に取り組んだ。

さらに、設備高度化として試料搬送導入装置等を整備した。

### 第3 庶務事項

#### (1) 理事会

年月日	内 容	
H25.6.11	第1回理事会	第1号議案 平成24年度の事業報告、計算書類及びそれらの附属明細書並びに財産目録の承認の件 第2号議案 評議員会招集の件 報告事項 職務執行状況の報告
H26.2.18	第2回理事会 (書面)	第1号議案 公益目的事業への新規事業追加の件 第2号議案 公益目的事業の一部を廃止する件 第3号議案 変更認定申請手続き及び申請書類等の補正を理事長に一任する件
H26.3.11	第3回理事会	第1号議案 平成25年度事業計画変更の件 第2号議案 平成26年度事業計画及び予算の件 第3号議案 評議員会の招集の件 第4号議案 一時借入最高限度額の件 第5号議案 定款変更の件 報告事項 職務執行状況の報告

## (2) 評議員会

年月日	内 容	
H25.6.25	第1回評議員会 第1号議案 報告事項	平成24年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認の件 平成24年度事業報告
H25.7.24	第2回評議員会 (書面) 第1号議案	理事1名選任の件
H25.11.21	第3回評議員会 (書面) 第1号議案	評議員1名選任の件
H26.2.18	第4回評議員会 (書面) 第1号議案 第2号議案 第3号議案	公益目的事業への新規事業追加の件 公益目的事業の一部を廃止する件 変更認定申請手続き及び申請書類等の補正を理事長に一任する件
H26.3.25	第5回評議員会 第1号議案 第2号議案 第3号議案 報告事項	平成25年度事業計画変更の件 平成26年度事業計画及び予算の件 定款変更の件 第3回理事会の決議内容等